

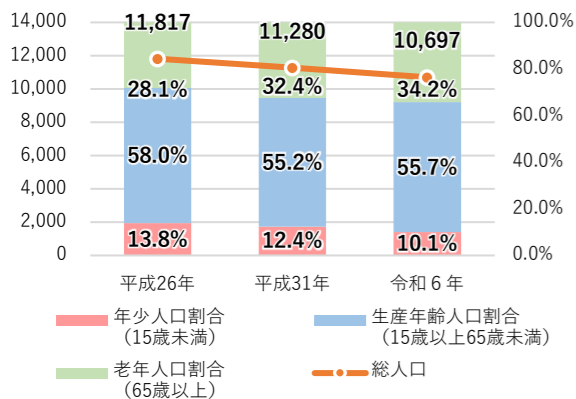
防災都市づくりの取組内容

大宮西地域

【地域特性】

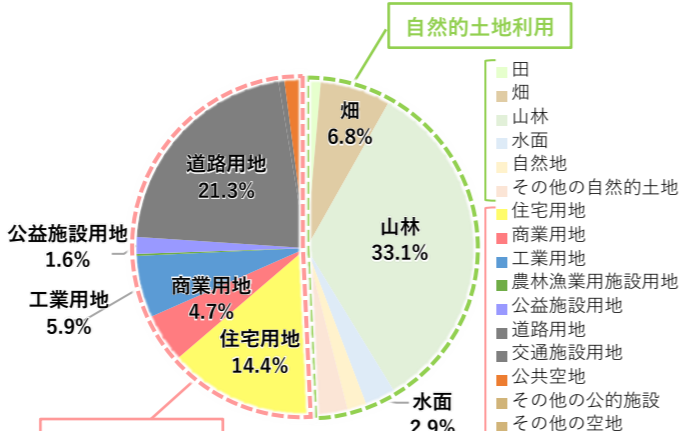
大宮西地域は、富士宮第三中学校の学区を地域とし、大きくは白尾山以北の都市地域と南部の農業・自然地域によって構成されています。

【人口動向】



出典：富士宮市住民基本台帳（各年1月1日調査）

【土地利用現況】



出典：平成28年都市計画基礎調査

【避難場所】

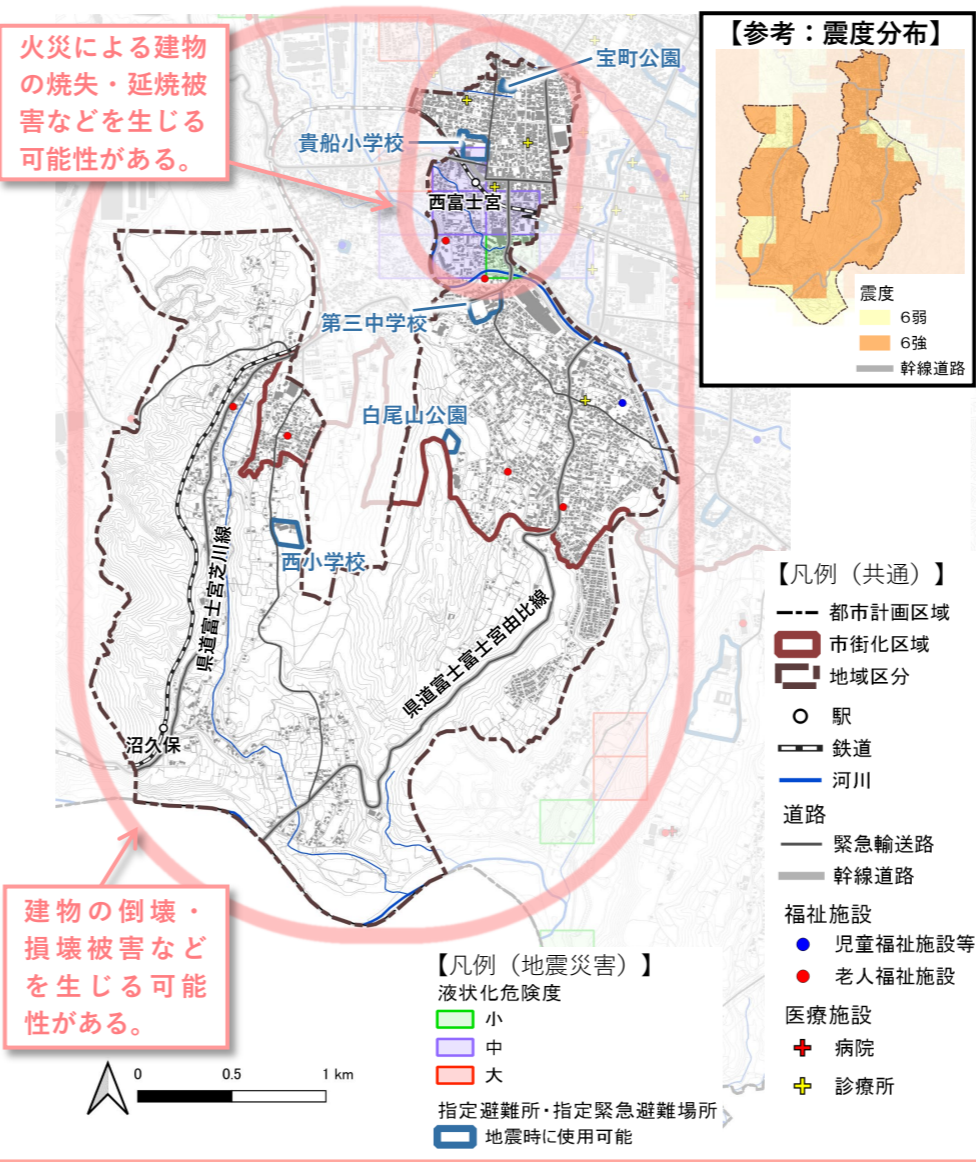
避難場所	種別	対応災害		
		地震	洪水	土砂
第三中学校	指定緊急避難場所 (指定避難所を兼ねる)	○	○	-
市民文化会館		-	○	○
貴船小学校		○	○	-
西小学校		○	○	○
白尾山公園	指定緊急避難場所	○	-	-
宝町公園		○	-	-

【災害危険性と取組内容】

大宮西地域は地震災害、水害及び土砂災害による災害危険性があり、地域北部の都市地域と南部の農業・自然地域の一部に建築物が分布しているため、災害危険性のある場所において建築物の安全性の確保や避難しやすい環境の形成などの取組を推進していきます。

ハザードの存在	災害危険性	取組内容
地域全体的に震度6弱以上で、地域西部の一部及び南部の一部を除き震度6強が広範囲に分布している。	建物の倒壊・損壊や人的被害を生じる可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の除却の促進 建築物の耐震性向上、建替え 建物密集地におけるオープンスペースの確保、避難しやすい環境整備
また、地域北部の一部に液状化可能性（中・小）の範囲が分布している。	火災による建物の焼失・延焼や人的被害を生じる可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 建築物の不燃化 空き家の除却の促進 建物密集地におけるオープンスペースの確保、避難しやすい環境整備
	緊急輸送路の被災などによる道路不通時には、救急・物資輸送・復旧活動などが停滞する可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送路の整備、橋梁などの耐震性向上 沿道建築物の耐震性向上、狭あい道路の拡幅 各人の避難計画の検討
	道路不通により、市民が住宅などに留まり続ける可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水・食料などの適切な備蓄
	避難施設が倒壊などにより活用できない可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 避難施設の耐震性の確認・向上

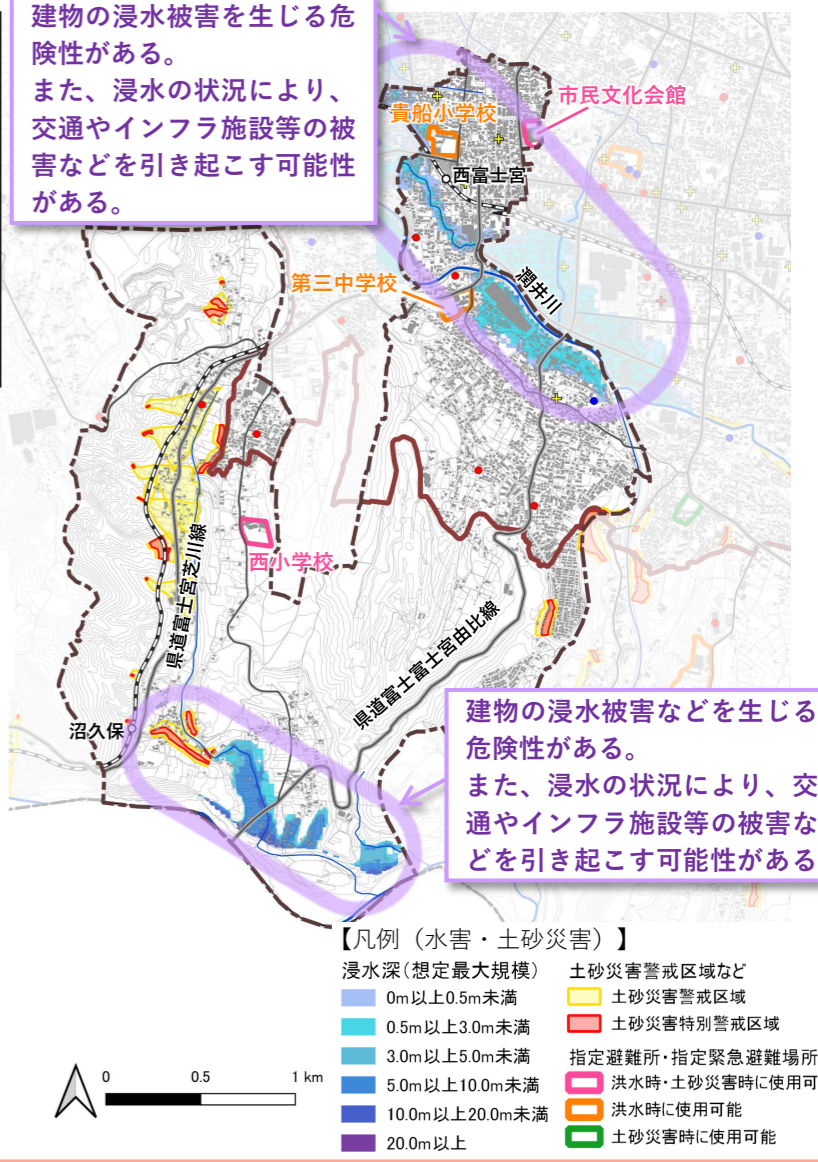
■地震災害に関する危険性（大宮西地域）



火災による建物の焼失・延焼被害などを生じる可能性がある。

建物の倒壊・損壊被害などを生じる可能性がある。

■水害・土砂災害に関する危険性（大宮西地域）



建物の浸水被害を生じる危険性がある。また、浸水の状況により、交通やインフラ施設等の被害などを引き起こす可能性がある。

建物の浸水被害などを生じる危険性がある。また、浸水の状況により、交通やインフラ施設等の被害などを引き起こす可能性がある。

ハザードの存在	災害危険性	取組内容
地域北部から南部にかけての潤井川及び富士川周辺一帯に浸水域が分布している。	建物の浸水被害や人的被害を生じる危険性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 気象情報の入手、各人の避難計画の検討、浸水前等の早い段階での避難 浸水対策の検討・整備
	浸水の状況により、交通やインフラ施設等の被害などを引き起こす可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 浸水前等の早い段階での避難 避難方法（垂直避難含む）の周知 各人の避難計画の検討 浸水対策の検討・整備
	避難施設が遠い場合には、迅速に避難できない可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 気象情報の入手、各人の避難計画の検討、浸水前等の早い段階での避難 避難方法（垂直避難含む）の周知 身近な一時避難場所の確保 避難体制、高齢者などの避難支援
	土砂災害警戒区域内や周辺では、建物の損壊被害や人的被害が発生する可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 気象情報の入手、各人の避難計画の検討、風雨が強まる前等の早い段階での避難 砂防施設・急傾斜地崩壊防止施設の整備 住宅移転の検討
地域西部及び南西部の一部に警戒区域などが分布している。	道路が被害を受けた場合、市民が住宅などに留まり続ける可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 風雨が強まる前等の早い段階での避難 避難方法の周知 各人の避難計画の検討 飲料水・食料などの適切な備蓄
	避難施設が遠い場合には、迅速に避難できない可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 気象情報の入手、各人の避難計画の検討、風雨が強まる前等の早い段階での避難 身近な一時避難場所の確保 避難体制、高齢者などの避難支援
	要配慮者利用施設の被害により、利用が困難となる可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害リスクの周知 各事業者の避難計画の検討

その他、避難場所の快適性向上や地域の防災力向上など、各災害に共通する取組も推進していきます。